

6.3.13 景 観

計画地南東側の青山通り沿いは、事務所建築物や住商併用建物等が多く見られる中層から高層建物を中心とする市街地景観を呈し、青山通り沿道より東側は独立住宅や集合住宅が多く見られる低層から中層建物を中心とする景観を呈している。計画地西側は、独立住宅や集合住宅が多く見られる低層建物を中心とする景観を呈している。

計画地南側は、都営青山北町アパートの建替え敷地にあたり、都営住宅を高層・集約化して建て替えるとともに、民間活力を活かした建替えが進められており、建替え後には、まとまりのある緑空間を含む住宅系高層建物等による景観を呈すると予想される。

計画地北側は、事務所建築物や専用商業施設が多く見られる中層から高層建物を中心とする市街地景観を呈し、以遠には明治神宮外苑のスポーツ施設等が位置している。

なお、計画地は、表6.3-22(1)及び図6.3-18(1)に示すとおり、「東京都景観計画」(平成30年8月改定 東京都)における「国会議事堂、迎賓館、絵画館、東京駅丸の内駅舎の眺望の保全に関する景観誘導」の景観誘導区域(保全対象建築物：国会議事堂)に含まれており(C区域：国会議事堂頂部から概ね2km～4kmの範囲)、表6.3-22(2)に示す景観形成基準に適合する必要がある。

表6.3-22(1) 大規模建築物等の建築等に係る景観形成基準(保全対象建築物)

保全対象建築物	眺望地点	景観誘導区域		
		A区域	B区域	C区域
国会議事堂	北緯35度40分36秒 東経139度44分57秒 (内堀通りと六本木通りが交差する国会前交差点付近)	国会議事堂頂部からおおむね1kmの範囲	国会議事堂頂部からおおむね1km～2kmの範囲	国会議事堂頂部からおおむね2km～4kmの範囲

表6.3-22(2) 大規模建築物等の建築等に係る景観形成基準(C区域内)

基準適用建築物の色彩	景観誘導区域内における基準適用建築物の色彩は、色彩基準に適合すること。
屋外広告物の表示	景観誘導区域内における基準適用建築物に設置される屋外広告物は、眺望地点から見える範囲内に表示しない。

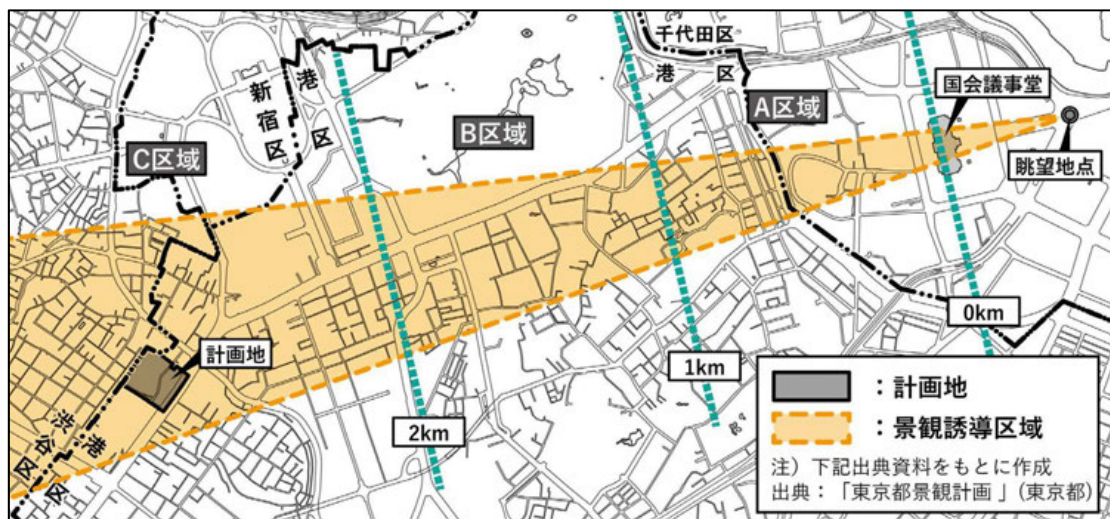


図6.3-18(1) 景観誘導区域の指定状況(国会議事堂)

計画地の一部(青山通り沿い)は、図6.3-18(2)に示すとおり港区景観計画(平成27年12月港区)における「青山通り周辺景観形成特別地区」に含まれており、以下に示す景観形成の方針が掲げられている。

- 赤坂、青山、表参道、渋谷をつなぐ、風格ある街並みを守り、育てる
- にぎわいと潤い、安らぎが程よく調和した、楽しく散策できる街並みを演出する
- 表参道、明治神宮外苑銀杏並木の雰囲気を生かした魅力ある交差点を演出する

また、計画地を含む青山通り周辺には「青山通り周辺地区まちづくりガイドライン」(平成27年10月 港区)が定められており、以下に示すまちづくりの目標が掲げられている。

・【目標1】 気品とにぎわいのある魅力的なまち

- 方針Ⅰ：青山通りを軸に気品と風格ある空間をつくる(沿道空間)
- 方針Ⅱ：にぎわいとやすらぎの調和した市街地をつくる(都市機能)
- 方針Ⅲ：多様で充実した文化交流の機会をつくる(文化交流)

・【目標2】 安全・安心して生活できる落ち着いたまち

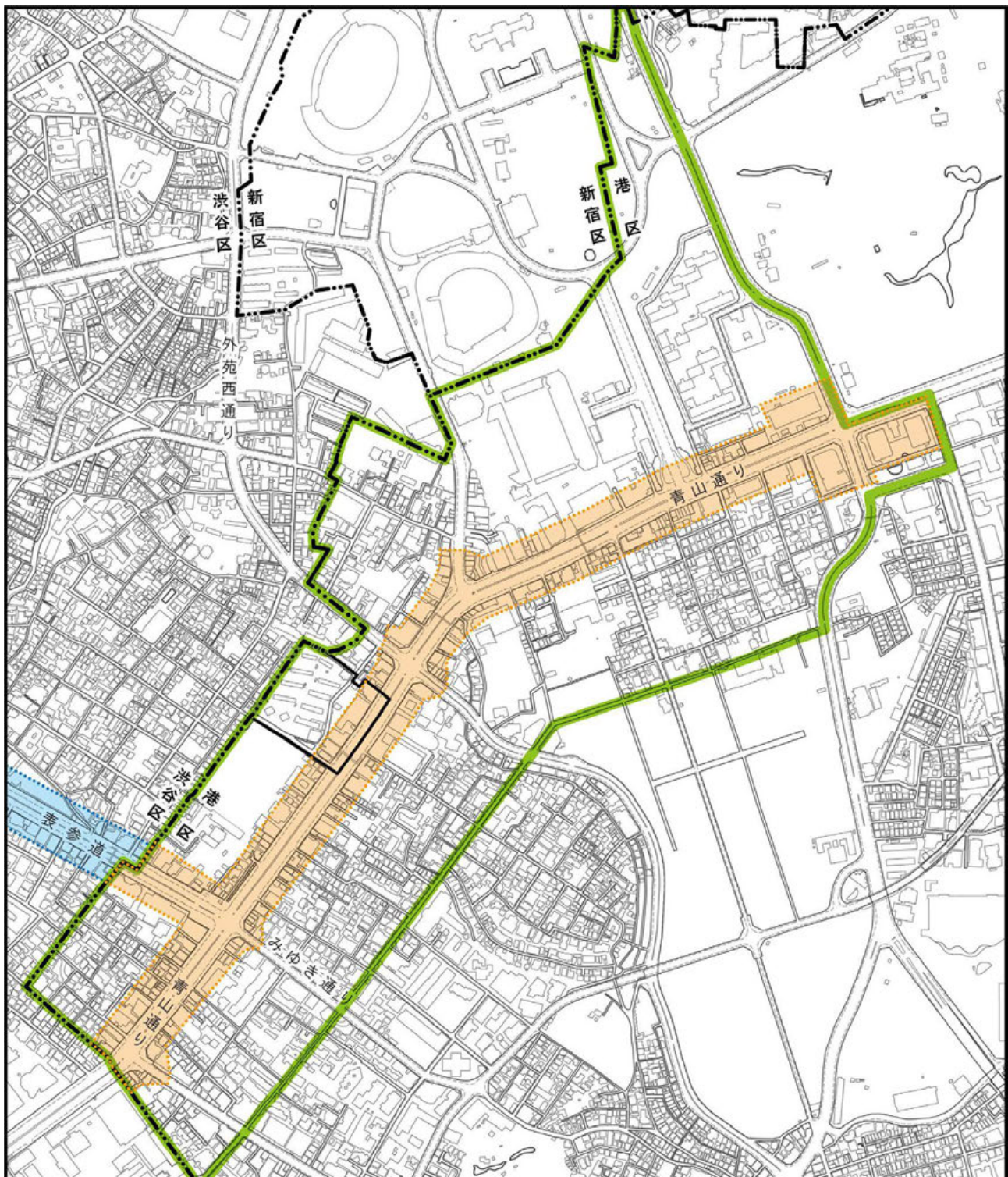
- 方針Ⅰ：住み続けられる良好な生活環境をつくる(居住環境)
- 方針Ⅱ：災害に強い安全な都市をつくる(防災対策)
- 方針Ⅲ：安心できる地域のつながりをつくる(美化・防災・防犯)

・【目標3】 豊かな環境で過ごせる快適なまち

- 方針Ⅰ：快適な歩行環境をつくる(歩行空間)
- 方針Ⅱ：移動に便利な交通環境をつくる(交通対策)
- 方針Ⅲ：うるおいの感じられる都市環境をつくる(緑・環境)

この他、計画地の南西約300m以遠の地域は、図6.3-18(2)に示すとおり渋谷区景観計画(平成25年3月 渋谷区)における「景観形成特定地区(表参道沿道地区)」に指定されており、以下に示す景観の形成に関する方針が掲げられている。

- 地形の特性を活かした景観形成
- 緑、河川等の自然の特性を活かした景観形成
- 歴史・文化の特性を活かした景観形成
- 都市における賑わい・交流空間の特性を活かした景観形成
- 住民全体の取り組みを活かした景観形成



凡
例

□ : 計画地

--- : 区 界

□ : 青山通り周辺景観形成特別地区

□ : 景観形成特定地区(表参道沿道地区)

□ : 青山通り周辺地区まちづくりガイドライン対象区域

注) 下記出典資料をもとに作成

出典: 「港区景観計画(平成27年度(2015年度)改定)」(平成27年12月 港区)

「青山通り周辺地区まちづくりガイドライン」(平成27年10月 港区)

「渋谷区景観計画」(平成25年3月 渋谷区)

図6.3-18(2) 景観に係る計画の地区指定状況

0 100 200 500m
1 : 10,000



6.3.14 史跡・文化財

(1) 指定文化財等

計画地及びその周辺に分布する国、区指定の文化財等は、表6.3-23(1)～(3)及び図6.3-19に示すとおりである。なお、東京都指定の文化財等はない。

計画地には指定文化財等は存在しない。なお、計画地に最も近い指定文化財等として、計画地北東側に「海蔵寺の庚申塔(地点5)」がある。

表6.3-23(1) 計画地周辺の指定文化財等

地点	種 別	名 称	所在地	区 分
1	絵 画	1 絹本著色阿弥陀如来像	港区南青山 6-5-1 根津美術館	国
		2 絹本著色愛染明王像		
		3 絹本著色愛染明王像		
		4 絹本著色愛染曼荼羅図		
		5 絹本著色華嚴五十五所絵		
		6 絹本著色柿本人麿像〈詫磨栄賀筆/〉		
		7 絹本著色金剛界八十一尊大曼荼羅図		
		8 絹本著色五百羅漢図〈伝明兆筆/東福寺伝来〉		
		9 絹本著色釈迦如来像		
		10 絹本著色釈迦八相図		
		11 絹本著色春日宮曼荼羅図		
		12 絹本著色春日補陀落山曼荼羅図		
		13 絹本著色銭塘観潮図		
		14 絹本著色善光寺如来縁起絵		
		15 絹本著色大威徳明王像		
		16 絹本著色大日如来像		
		17 絹本著色那智滝図		
		18 絹本著色普賢十羅刹女像		
		19 絹本著色仏涅槃図		
		20 絹本著色法相宗曼荼羅図		
		21 絹本著色夕陽山水図〈馬麟筆/〉		
		22 絹本著色鶉図		
		23 絹本墨画古木牧牛図〈毛倫筆/〉		
		24 絹本墨画羅漢図〈/(第五諾矩尊者)〉		
		25 紙本金地著色燕子花図〈尾形光琳筆/六曲屏風〉		
		26 紙本金地著色藤花図〈円山応挙筆/六曲屏風〉		
		27 紙本淡彩観瀑図		
		28 紙本淡彩帰郷省親図		
		29 紙本淡彩山水図〈祥啓筆/〉		
		30 紙本淡彩山水図〈伝周文筆/〉		
		31 紙本淡彩送海東上人帰国図		
		32 紙本著色瓜虫図〈呂敬甫筆/自賛がある〉		
		33 紙本著色絵過去現在因果経〈巻第二/〉		
		34 紙本著色十二因縁絵巻		
		35 紙本著色天狗草紙		

注) 地点番号の表記は、図6.3-19に対応する。

出典:「国指定文化財等データベース」(令和2年2月閲覧 文化庁ホームページ)

「港区文化財総合目録」(令和2年2月閲覧 港区)

表6.3-23(2) 計画地周辺の指定文化財等

地点	種 別	名 称	所在地	区 分
1	絵 画	36 紙本墨画漁村夕照図 〈伝牧谿筆/〉	港区南青山 6-5-1 根津美術館	国
		37 紙本墨画拾得図		
		38 紙本墨画禅機図断簡 〈因陀羅筆/(布袋図)〉		
		39 紙本墨画淡彩山水図 〈曾我紹仙筆/〉		
		40 紙本墨画風雨山水図		
		41 紙本墨画叭々鳥図 〈雪村筆/〉		
	工芸品	42 井戸茶碗(柴田)		
		43 雨漏茶碗		
		44 花白河蒔絵硯箱		
		45 丸壺茶入(相坂) 〈瀬戸/〉		
		46 金銅鉢		
		47 金襴手下蕪花生		
		48 堅手茶碗(長崎)		
		49 高麗青磁蓮華唐草文水瓶		
		50 嵯峨山蒔絵硯箱		
		51 秋野蒔絵手箱		
		52 春日山蒔絵硯箱		
		53 色絵山寺図茶壺 〈仁清作/〉		
		54 青磁花瓶		
		55 青磁筒花生 〈銘大内筒/〉		
		56 鼠志野亀甲文茶碗(山端)		
		57 唐物肩衝茶入 〈銘松屋/〉		
		58 宝相華銀平文袈裟箱		
		59 明染付花卉文大皿		
		60 蘆屋松梅図真形釜		
	考 古 資 料	61 錆藍金絵替皿 〈尾形乾山作/〉		
		62 犧首饗養き竜文尊 〈図形文字一/〉		
		63 犧首饗養き竜文方壺 〈図形文字一/〉		
		64 双羊尊		
		65 饗養き鳳文ほう 〈図形文字一/〉		
		66 饗養き鳳文方彝 〈文字六/〉		
		67 饗養き竜文尊 〈図形文字一/〉		
		68 饗養文か 〈図形文字一/〉		
		69 饗養文方か 〈文字一/〉		
	書 跡 ・ 典 籍	70 一山一寧墨蹟(正和丙辰十月下澣)		
		71 観世音菩薩受記經		
		72 居湊和尚墨蹟 〈弔白雲恵曉偈/〉		
		73 金光明最勝王經註釈 〈卷第二断簡/(飯室切)〉		
		74 月江正印墨蹟 〈玉泉字号偈/至正八年仲冬〉		
		75 月江正印墨蹟 〈与楚雙峯偈語/至正三年二月十八日〉		

注) 地点番号の表記は、図6.3-19に対応する。

出典:「国指定文化財等データベース」(令和2年2月閲覧 文化庁ホームページ)

「港区文化財総合目録」(令和2年2月閲覧 港区)

表6.3-23(3) 計画地周辺の指定文化財等

地点	種 別	名 称	所在地	区 分
1	書 跡 ・ 典 籍	76 月礪文明墨蹟〈拈香語〉	港区南青山 6-5-1 根津美術館	国
		77 古今集〈藤原為氏筆〉		
		78 根本百一羯磨〈巻第六〉		
		79 紺紙銀字華嚴経巻第四十六〈(二月堂焼経)〉		
		80 子元祖元墨蹟(弘安三年中夏)		
		81 宗峰妙超墨蹟(元亨壬戌)		
		82 順正理論巻第六残巻		
		83 大乘掌珍論〈巻上残巻〉		
		84 大乘法界無差別論疏〈成弁筆〉		
		85 大唐内典録〈巻第九 第十残巻〉		
		86 大般若経巻五十七残巻		
		87 大般若経巻第二十三		
		88 大般若経巻第二百六十七		
		89 註楞伽經〈巻第七〉		
		90 内大臣殿歌合〈/元永二年七月〉		
		91 飛鳥井雅経筆懷紙(詠暁紅葉和歌)		
		92 不空三蔵表制集巻第五		
		93 無量義経(装飾経)		
		94 明極楚俊墨蹟(元徳二年仲春上澣五日)		
		95 竜巖徳真墨蹟 〈与無夢一清偈/至順二年辛未重陽後十日〉		
2 3	建造物	96 石造浮彫十一面観音龕	渋谷区渋谷 4-22 他	国
		97 銅造〈釈迦如来/多宝如来〉並坐像		
4	工芸品	98 木造地藏菩薩立像		
2	建造物	99 青山学院ベリーホール	渋谷区渋谷 4-22 他	国
3		100 青山学院間島記念館		
4	工芸品	101 太刀〈額銘吉房〉	渋谷区代々木 4-25-10	
5	有形文化財 (歴史資料)	102 海蔵寺の庚申塔	北青山2-12-29 海蔵寺	港 区
6		103 青山の庚申塔	南青山 4-28先	
7	史 跡	104 伊澤蘭軒墓	西麻布2-21-34 長谷寺	
8	有形文化財	105 銅板日遙墓誌	千駄ヶ谷 2-24-1 仙寿院	渋谷区
9	天然記念物	106 シイ	霞ヶ丘町	新宿区

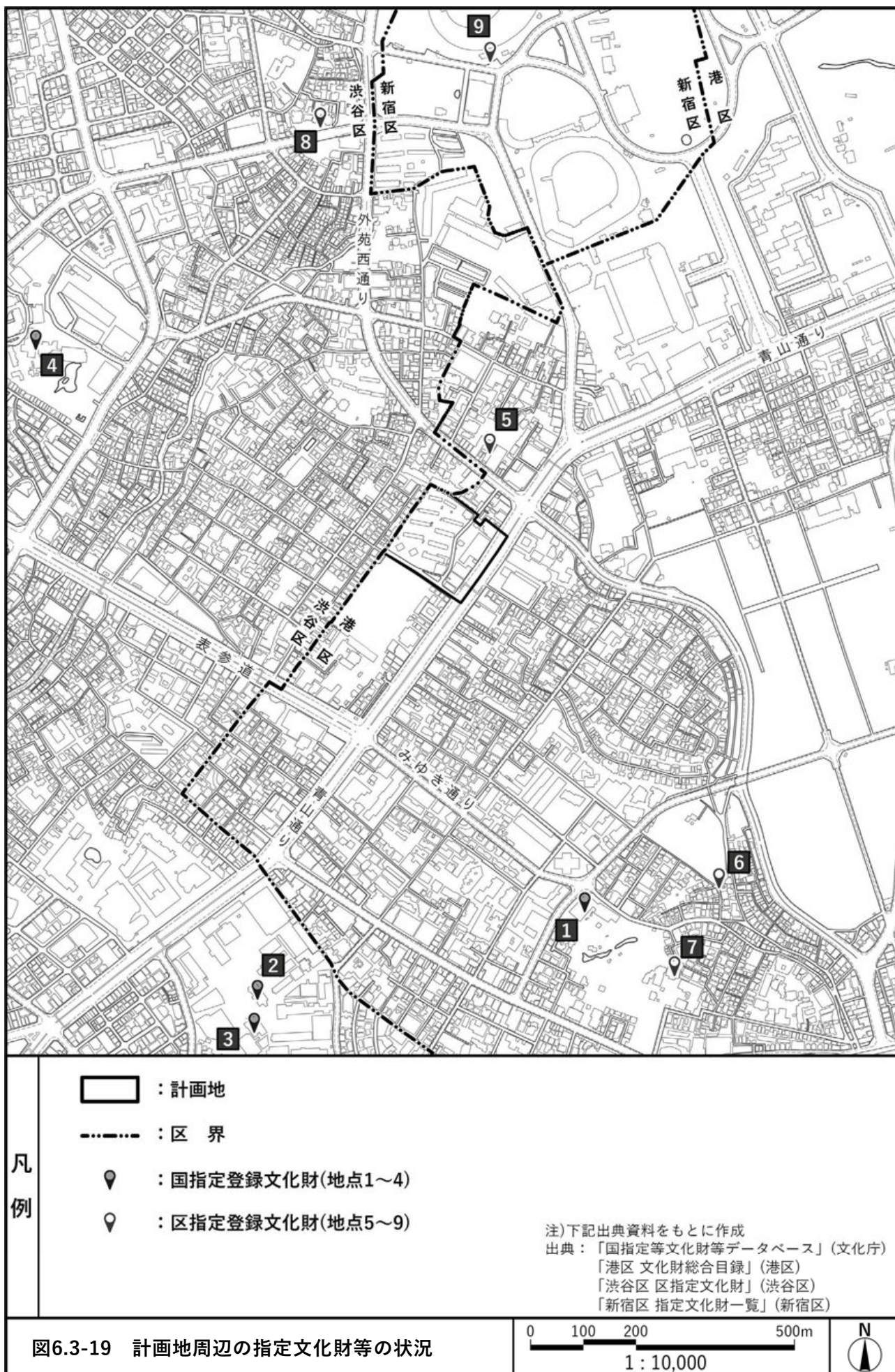
注) 地点番号の表記は、図6.3-19に対応する。

出典：「国指定文化財等データベース」(令和2年2月閲覧 文化庁ホームページ)

「港区 文化財総合目録」(令和2年2月閲覧 港区)

「渋谷区 区指定文化財」(令和2年2月閲覧 渋谷区)

「新宿区 指定文化財一覧」(令和2年2月閲覧 新宿区)



(2) 埋蔵文化財包蔵地

計画地周辺の埋蔵文化財包蔵地は、表6.3-24及び図6.3-20に示すとおりである。

計画地内には周知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。なお、計画地に最も近い埋蔵文化財包蔵地として、計画地に隣接して「北青山三丁目遺跡(地点14)」がある。

表6.3-24 計画地周辺の埋蔵文化財包蔵地

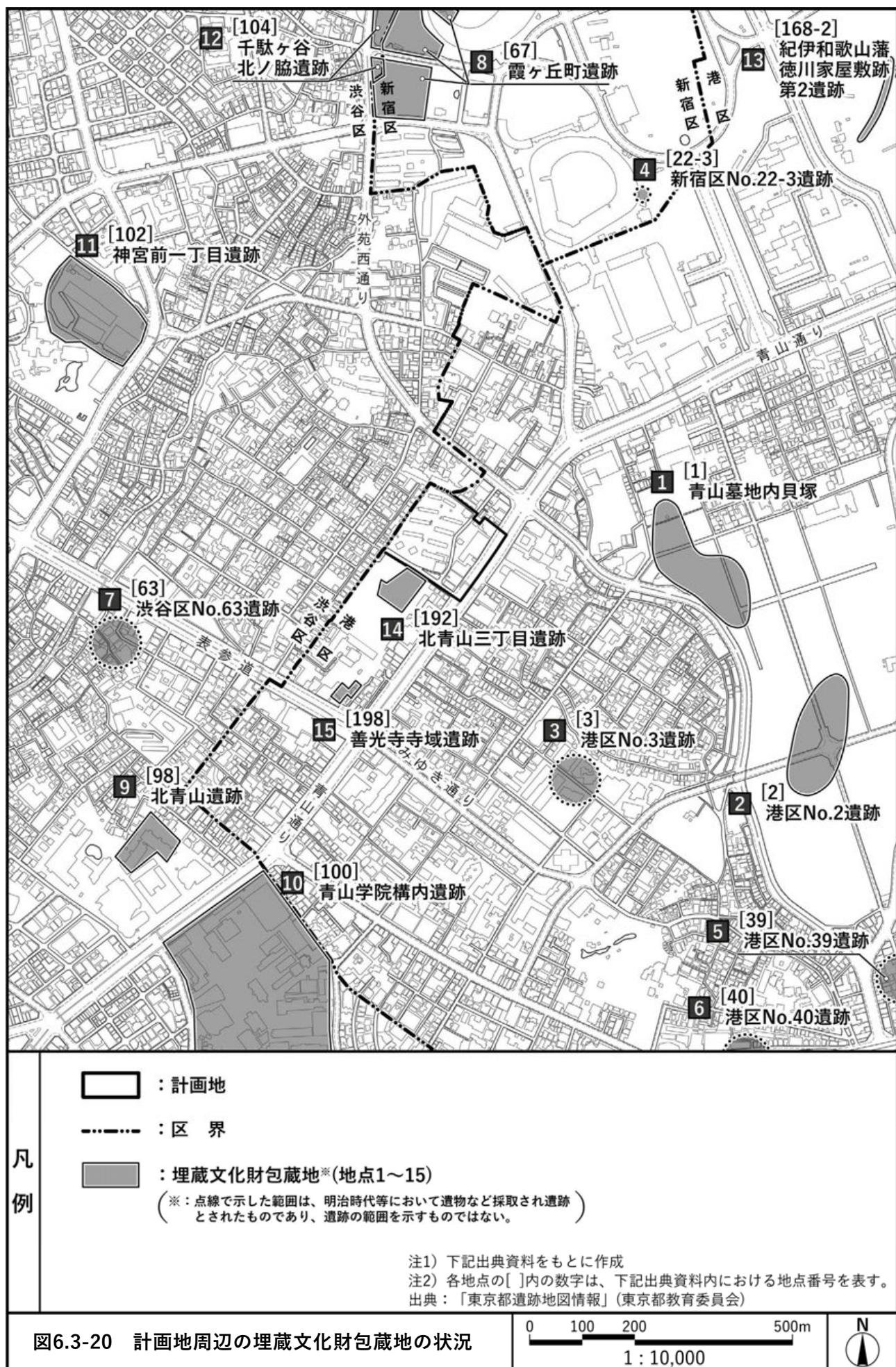
地点番号 [遺跡番号]※1	遺跡名	所在地	遺跡の概要※2 (種別、主な遺構/概要)		時 代※2
1 [1]	青山墓地内貝塚	港区南青山2丁目	包蔵地 ・貝塚		[縄(早期・中期 ～後期)]
2 [2]	港区No.2遺跡	港区南青山2丁目	包蔵地 ・貝塚		[縄] [弥]
3 [3]	港区No.3遺跡	港区南青山4丁目	貝塚		[縄]
4 [22-3]	新宿区 No.22-3遺跡	新宿区霞ヶ丘町	上水道	[近]木樋	[近]
5 [39]	港区No.39遺跡	港区西麻布1丁目	包蔵地		[縄]
6 [40]	港区No.40遺跡	港区西麻布2丁目 港区西麻布4丁目	包蔵地		[縄]
7 [63]	渋谷区 No.63遺跡	渋谷区神宮前5丁目	包蔵地		[縄(中期)]
8 [67]	霞ヶ丘町遺跡	新宿区霞ヶ丘町	包蔵地・ その他の 墓・屋敷		[縄(早期～前期)] [中] [近]
9 [98]	北青山遺跡	渋谷区神宮前5丁目	包蔵地 ・屋敷	[縄]土坑 [近]掘立柱建物,土坑,地下室,井戸,溝	[旧] [縄(後期)] [近]
10 [100]	青山学院 構内遺跡	渋谷区渋谷4丁目	包蔵地 ・屋敷	伊予西条藩 松平家上屋敷 [近]土坑,水路, 池,板塀状遺構, 道路状遺構	[縄] [近]
11 [102]	神宮前 一丁目遺跡	渋谷区神宮前1丁目	集落	[縄]住居	[縄] [近]
12 [104]	千駄ヶ谷 北ノ脇遺跡	渋谷区千駄ヶ谷1丁目 渋谷区千駄ヶ谷2丁目	包蔵地	[縄]～[弥] 自然流路 [近]杭跡,土坑	[縄] [弥] [近]
13 [168-2]	紀伊和歌山藩 徳川家屋敷跡 第2遺跡	港区元赤坂2丁目	屋敷	包含層	[近]
14 [192]	北青山 三丁目遺跡	港区北青山3丁目	包蔵地 ・屋敷	溝状遺構, 土坑,ピット	[縄] [近]
15 [198]	善光寺寺域遺跡	港区北青山3丁目	社寺	溝, 柵列	[近]

※1：[]内の数字は、下記出典資料内における地点番号を表す。

※2：[旧]：旧石器時代、[縄]：縄文時代、[弥]：弥生時代、[古]：古墳時代、[奈]：奈良時代、
[平]：平安時代、[中]：中世、[近]：近世

注) 地点番号の表記は、図6.3-20に対応する。

出典：「東京都遺跡地図情報」(令和2年2月閲覧 東京都教育委員会)



6.3.15 自然との触れ合い活動の場

計画地周辺の自然との触れ合い活動の場は、表6.2-9(p.33～34参照)、表6.3-25及び図6.3-21に示すとおりである。

計画地内に散策コースは存在しない。計画地近傍には「エキサイティングでおしゃれな原宿とその界限コース」や「將軍家ゆかりの地寺町の千駄ヶ谷コース」の散策コースの一部があるが、そのコースは計画地から100m程度離れている。

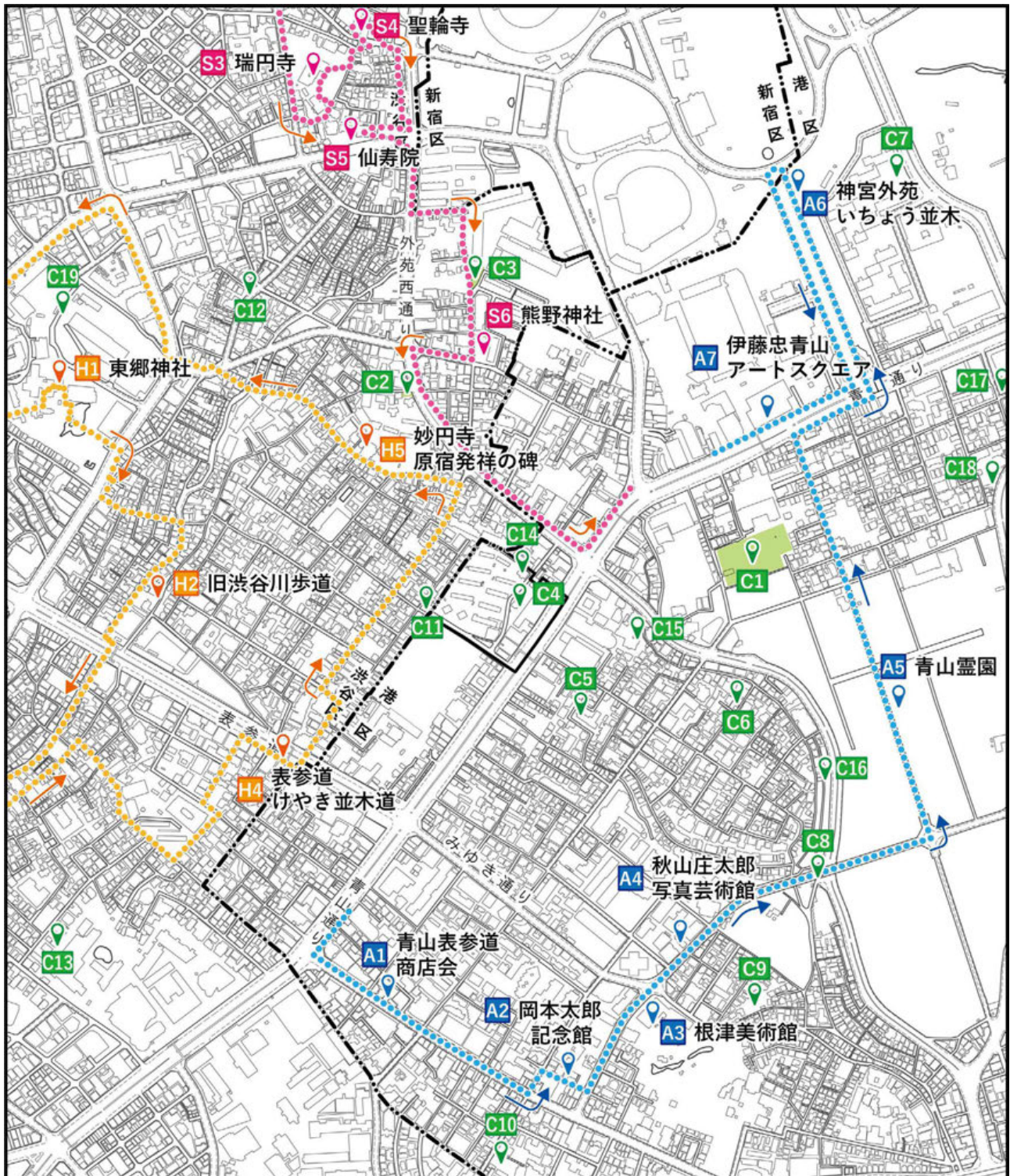
また、公園・児童遊園・緑地として、計画地西側に隣接(計画地中心付近から約150m)して「神宮前三丁目児童遊園(地点C11)」、南東側約250mに「南青山三丁目児童遊園(地点C5)」等が存在している。

なお、計画地内には、「北青山三丁目児童遊園(地点C4)」及び「北青山三丁目緑地(地点C14)」がある。

表6.3-25 計画地周辺の散策コース

項 目		出発地	経 由	終 点
港区	青山散策コース	東京メトロ 表参道駅 B1出口	[A1] 青山表参道商店会 → [A2] 岡本太郎記念館 → [A3] 根津美術館 → [A4] 秋山庄太郎写真芸術館 → [A5] 青山霊園 → [A6] 神宮外苑いちよう並木 → [A7] 伊藤忠青山アートスクエア	東京メトロ 外苑前駅
渋谷区	エキサイティングで おしゃれな原宿と その界限コース	JR原宿駅	[H1] 東郷神社 → [H2] 旧渋谷川歩道 → 稲田神社 → [H4] 表参道けやき並木道 → [H5] 妙円寺	JR原宿駅
	將軍家ゆかりの地 寺町の千駄ヶ谷コース	JR 千駄ヶ谷駅	国立能楽堂 → 鳩森八幡神社 → [S3] 瑞円寺 → [S4] 聖輪寺 → [S5] 仙寿院 → [S6] 熊野神社	東京メトロ 外苑前駅

出典：「港区観光ガイドブック」(平成30年5月 港区観光協会)
「渋谷まち歩き」(令和2年2月閲覧 渋谷区ホームページ)



6.3.16 廃棄物

(1) 一般廃棄物

港区におけるごみ収集量・資源回収量の状況は、表6.3-26及び図6.3-22に示すとおりである。

港区におけるごみ収集量は、平成26年度から平成30年度にかけて増加傾向にある。平成30年度のごみ収集量は合計で54,933tであり、前年度比約390tの増加となっている。

表6.3-26 港区におけるごみ収集量の推移

単位：t

項 目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ご み 収 集 量	可燃ごみ	46,993	47,185	47,199	47,943	48,142
	不燃ごみ	2,121	2,151	2,080	2,093	2,120
	粗大ごみ	2,148	2,269	2,169	2,204	2,388
	管路収集※	2,204	2,273	2,236	2,303	2,283
	合 計	53,466	53,878	53,685	54,543	54,933

※：管路収集は、台場地区の可燃ごみのみ

出典：「清掃事業情報館」（令和2年2月閲覧 港区ホームページ）

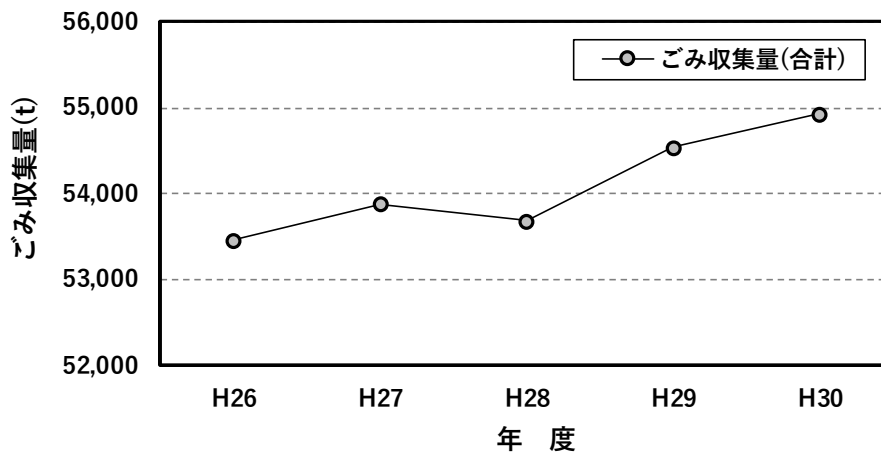


図6.3-22 港区におけるごみ収集量の推移

(2) 産業廃棄物(建設業)

東京都内における産業廃棄物(建設業)の排出量の状況は、表6.3-27に示すとおりである。

排出量(合計)は平成25年度から平成29年度にかけて増加傾向にある。平成29年度の排出量は合計で10,792ktで、主な産業廃棄物の割合は、がれき類(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊等)が53.9%、汚泥(建設汚泥等)が35.6%であり、これらで約90%を占めている。

表6.3-27 東京都内の産業廃棄物(建設業)排出量

単位：kt

種 類 \ 年 度	排出量					割合 (%)
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
燃え殻	0	14	10	4	3	0.0
汚 泥	2,460	2,635	2,428	3,184	3,844	35.6
廃 油	6	4	4	3	2	0.0
廃 酸	0	0	0	0	0	0.0
廃アルカリ	1	1	1	1	4	0.0
廃プラスチック類	82	91	92	85	102	0.9
金属くず	68	77	74	88	81	0.8
ガラス・陶磁器くず	245	260	133	196	255	2.4
鉱さい	4	1	9	11	8	0.1
がれき類	5,799	6,141	6,665	6,256	5,822	53.9
石綿含有産業廃棄物	34	36	42	65	44	0.4
紙くず	30	34	26	27	37	0.3
木くず	301	339	262	282	316	2.9
繊維くず	6	6	4	32	3	0.0
政令13号物	0	0	6	4	0	0.0
混合廃棄物	311	316	281	259	261	2.4
その他	0	0	0	0	1	0.0
特別管理産業廃棄物※	9	13	5	9	9	0.1
合 計	9,355	9,968	10,042	10,506	10,792	100.0

※：特定有害廃棄物(廃石綿等、その他(汚泥))

注) 割合は、平成29年度における数値を表す。

出典：「東京都産業廃棄物経年変化実態調査報告書(平成25年度実績～平成29年度実績)」

(平成27年10月～令和元年10月 東京都環境局)

6.3.17 温室効果ガス

港区における温室効果ガス排出量の推移は、表6.3-28(1)に示すとおりである。

港区の平成28年度における温室効果ガス排出量の合計は4,201kt-CO₂eq※である。温室効果ガスの主な内訳では、二酸化炭素は減少傾向に、一酸化二窒素は横ばい傾向にある。全体(合計)は平成24年度から平成25年度にかけて増加し、平成26年度以降は減少傾向にある。

また、温室効果ガス排出量の90%以上(平成28年度：90.6%)を占める二酸化炭素排出量の構成比は、表6.3-28(2)に示すとおりである。

民生部門(家庭部門及び業務部門)が80%以上(平成28年度：81.9%)を占めている。

表6.3-28(1) 港区における温室効果ガス排出量の推移

単位：kt-CO₂eq

分 類 ^{※1}	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素	4,358	4,324	4,186	3,966	3,807
メタン	2	2	2	2	2
一酸化二窒素	10	10	9	11	9
HFCs類	210	275	311	348	381
PFCs類	0	0	0	0	0
SF ₆	2	2	2	2	2
NF ₃ ^{※2}	—	0	0	0	0
合 計	4,583	4,613	4,510	4,328	4,201

※1：HFCs：ハイドロフルオロカーボン，PFCs：パーフルオロカーボン，

SF₆：六ふっ化硫黄，NF₃：三ふっ化窒素

※2：NF₃(三ふっ化窒素)は平成25年度より算定対象の項目となった項目である。

注) 表中の排出量は四捨五入のため、合計の数値は必ずしも一致しない。

出典：「特別区の温室効果ガス排出量」(平成31年3月 オール東京62市区町村共同事業)

表6.3-28(2) 港区における二酸化炭素排出量の内訳

単位：kt-CO₂eq

分 類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
産業部門	107	87	87	61	97
民生部門	家庭部門	533	535	503	489
	業務部門	3,025	3,012	2,887	2,719
運輸部門	628	620	641	624	519
廃棄物部門	66	71	68	72	73
二酸化炭素合計	4,358	4,324	4,186	3,966	3,807

注) 表中の排出量は四捨五入のため、合計の数値は必ずしも一致しない。

出典：「特別区の温室効果ガス排出量」(平成31年3月 オール東京62市区町村共同事業)

※：CO₂eqは地球温暖化係数(GWP)を用いてCO₂相当量に換算した値である。

